

令和8年度（2026年度）教科研修（高校 数学）
 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～
 実施要項

1 目的

高等学校数学科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する講義・演習等を通して、自己の課題を明確化し、その改善に取り組むことで実践的指導力の向上を図ることを目的とします。

2 主催

北海道立教育研究所

3 期 日

- (1) 令和8年（2026年）7月15日（水） 遠隔型研修Ⅰ
 （遠隔型研修Ⅰから遠隔型研修Ⅱの間：職場実践）
- (2) 令和8年（2026年）11月17日（火） 遠隔型研修Ⅱ

4 実施方法及び会場

(1) 実施方法

本講座は、遠隔型研修により実施し、各研修の間の期間に職場実践（自己研修）に取り組みます。

(2) 会 場

各受講者の勤務校（勤務校にいながら受講することが可能です。）

5 参加対象及び定員

教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等数学科担当教諭（主幹教諭含む） 10名

6 研修内容及び日程（職場実践（自己研修）を除く）

7/15（水）10:00～15:00 遠隔型研修Ⅰ				
接続 受付 [9:30 ～ 10:00]	オリエ ンテー ション [10:00 ～ 10:20]	講義 [10:20～12:00] 「高等学校数学科における『個別最適な学 び』と『協働的な学び』の一体的な充実」 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小 林 廉 氏	演習・協議 [13:00～14:30] 『「個別最適な学び」と 『協働的な学び』の一 体的な充実に向けた自 己課題の明確化と目標 の設定」	まとめ [14:30～15:00] 「研修の振り返 り」

11/17（火）13:30～16:30 遠隔型研修Ⅱ			
接続 受付 [13:00 ～ 13:30]	オリエンテ ーション [13:30 ～14:00]	実践交流・協議 [14:00～16:00] 『「個別最適な学び」と『協働的な学び』の一体的な充実に向けて」	まとめ [16:00～16:30] 「研修のまとめ と今後の取組に ついて」

7 講師

遠隔型研修 I

【講義】「高等学校数学科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

国立教育政策研究所教育課程調査官 小林 廉 氏

8 準備物

- ・「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 数学編 理数編」
- ・『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 高等学校 数学（令和 3 年 8 月 国立教育政策研究所）」
- ・「令和 6 年度（2024 年度）及び令和 7 年度（2025 年度）高等学校教育課程編成・実施の手引 数学」（北海道教育庁学校教育局高校教育課）
- ・「高等学校数学指導資料 数学的リテラシーを育む授業事例集－数学的活動を通じた主体的・対話的で深い学びを踏まえて－」（文部科学省）
- ・遠隔型研修 I から遠隔型研修 II の間に、改善・実施した内容を「発表資料」としてまとめたものを作成し、提出していただきます。

9 受講に係る留意事項

(1) 遠隔型研修

ア 本研修講座で使用する配信画面、配信動画等を無断で録画（スクリーンショットでの撮影を含む）、録音、ダウンロードしないでください。

イ 接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については、別途お知らせします。

(2) その他

ア それぞれのコマを開始時刻から直ぐにスタートできるよう、接続に御協力願います。

イ 受講者としてふさわしい服装で受講してください。

ウ 研修講座アンケートは、講座修了後に回答いただきますので、御協力願います。

エ 研修講座の紹介のため、本研修講座の様子を写真や動画として撮影させていただく場合がありますので、御了承願います。

10 その他

(1) 研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただく場合もあります。

そのため写真に顔等が映り込むことがございますので、あらかじめ御了承ください。

(2) 遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末（カメラ機能・音声入出力機能有り）が必要となります。

(3) 本研修の一部講義は、「教員研修プラットフォーム」(Plant) を用いて、後日、研修受講者以外にも公開する予定です。

(4) 本研修終了後、受講者のうち複数の方に、令和 9 年（2027 年）2 月 16 日実施の「高校ステップアップ研修（数学）～先輩教諭に学ぶ～」の助言者として協力を依頼する予定です。